

令和6年度かながわコミュニティカレッジ

活動報告



かながわ
コミュニティ
カレッジ



Topic 1 受講生フォローアップ

若葉台団地見学in横浜市旭区

5月22日、「共助の地域づくりを推進する講座」の受講生フォローアップとして、若葉台団地に行きました。広大な団地の移動は実証実験のため配置された電動カーを利用しました。団地の横でたくさん野菜を育てています。小学校からの依頼で観覧用の幼虫も育てています。



Topic 2 特別講座を開催（無料）

人生を豊かに過ごすための地域での 支え合い・助け合い



地域活動を始めるきっかけになればと東海大学健康学部の高岡詩野氏をお招きし「ゆるやかな」人間関係のうまれる場についてご講義いただきました。また、令和5年度の受講生からは「コミカレ講座は家庭や仕事以外の居場所（サードプレイス）になった」とお話ししていただきました。

Topic 3 防災・避難訓練



災害時に備えて様々な訓練に参加
災害時の避難誘導・要援助者の補助や、火災や津波を想定した行動などいざというときに受講生の皆さんを安全に誘導できるよう、定期的に行われる訓練に参加しています。

Topic 4 地域開催講座

防災教育講座を平塚で開催しました

防災教育ファシリテーター養成講座（初級編）は横浜会場以外に、平塚（会場：ひらつか市民活動センター）でも開催しました。特に沿岸部でのDIG、逃げ地図は、いざという時にどう行動するかを伝えていく大事な学びとなりました。



Topic 5 現地見学

コミュニティカフェに行きました

シニアライフアドバイザー養成講座の3回目は、カフェの開設と運営を学び、実際に「希望カフェ」を見学に行きました。



Topic 6 掲示板活用

壁面を利用したコミュニケーション

第1講義室前の廊下やエレベーターホールの壁面はコミュニケーションボードとして活用しています。今年度は季節を感じる飾りつけやクイズの張り出し、アンケート調査などを行いました。



4月

5月

6月

7月

8月

9月

10月

11月

12月

1月

2月

3月

講座日程調整

受講生
募集開始

電子納付
スタート

特別講座開講

講座スタート

防水板設置
訓練に
事務局参加

修了生近況報告
貼り出し

地域開催講座
（平塚会場）

台風により
講座振り替え

防災訓練に
事務局参加
（地震・火災）

講座繁忙期

SNSアンケート
開始

防災研修に
事務局参加

防災訓練に
事務局参加
（地震・津波）

全34講座終了

受講生交流
サロン開催

講座の様子をのぞいてみよう！

発達障がい児地域支援 コーディネーター養成講座（基礎編）

支援の現場にいる方や当事者家族の方からお話を伺いました。発達障がい児の特性は多種多様で、共感したり、驚いたりしながら熱心にメモを取る姿が印象的でした。受講生同士のディスカッションはみなさん真剣に取り組まれました。



犯罪被害者支援ボランティア 養成講座（初中級）



写真は初回の様子。講座実施団体の所長様よりご挨拶をいただきました。各回ごとにグループワークが設けられ、受講生同士意見を交わし理解を深めました。休憩時には受講生同士が会話を交わす和やかな風景も見られました。

専門家や当事者の方など様々な視点から、犯罪被害者支援ボランティアに必要な知識・能力・技術を学ぶ講座です。

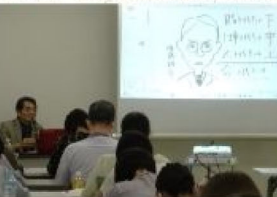
災害ボランティア コーディネーター基礎講座



この講座は、ボランティア・支援者・災害ボランティアセンターなどの役割を理解し、それをつなぐコーディネートを考えます。ICT活用によるボランティア応募や被災地の現場報告、ボランティアセンター体験など実践的に学びました。

聞き書きボランティア 養成講座

聞き書きは、話し手さんの話し言葉をそのままに書いて冊子に残す活動です。講師の小田先生は、数多くの本を出版されている聞き書き界の第一人者。落語の高座名を持つ話し上手でもあります。会場は爆笑あり、涙ありで、感動に包まれていました。その後受講生は二人一組になり、それぞれが語り手、聞き手の両方を体験。製本の技術も学び、受講生が冊子を完成させました。



新聞記者に学ぶ文章・写真・ 編集パワーアップ講座



オンライン講座3回と会場1回の講座です。会場では、写真撮影と取材の実習を行い、イベント記事の書き方を学びました。受講生が作成した記事は講師が添削、受講生がブラッシュアップを繰り返し、完成させました。

園芸療法ボランティア 入門講座

園芸療法ボランティア入門講座、2回目の実習ではマイバッグを作りました。スタンプとして使っているのは、野菜たちです。オクラやレンコン等、形に特徴があるものはもちろん、切ったホウレンソウの茎やインゲン、葉野菜もそれぞれにいい味を出しています。野菜を買う時、または捨てる時、何に使えるなど、つつい考えてしまいそうです。



INTERVIEW

修了生インタビュー

あなたの「コミカレで学んだこと」を教えてください

インタビュー
詳細はこちら→



添削の的確な答えに納得、
書く意欲が湧きました。

文章を書くときは、固有名詞や数字を使うことによって、その文章がリアルに心に響くということがわかりました。このことは、この講座で私が学んだことの1つの成果です。
講師からの文章の直しを、そのたびに熟考して書き換え、返したことで、自分の作文の苦手感覚が薄れました。文を書く手のスピードが違って来た感覚があります。添削では講師からの的確な答えに納得、そして褒められると、もっと書く意欲が湧きました(笑)。

新聞記者に学ぶ
文章・写真・編集
パワーアップ講座
藤田 紗央里さん

講座は障がいの種類や特徴、子どもが直面する困り事などを時代背景から知る流れでした。なかなかお会いする機会がない児童精神科医などのエキスパートの方々から、自分の固定概念を良い意味で壊されました。講座の後半でNPOの運営の講義を受け、いざ自身でぜひ、子育て支援事業を立ち上げてみたいという思いも芽生えました。
講座の終了後には「もっと聞きたい！毎月、毎週講座があれば良いのに！」という名残惜しい気持ちが残りました。

新しい視点と気づきを
もたらしていただきました。

発達障がい児地域支援
コーディネーター養成講座
（実践編）
高森 遼一さん

令和6年度受講生の声

気づきや学びが多かったです。
ボランティア活動の楽しさを、
再発見したように感じました。

大事な心構えの部分をしっかり聞けたのが、良かったです。改めて考えるきっかけになりました。

昭和的なリーダー論ではなく、
令和という時代にそったリーダー講座は勉強になりました。



ボランティアサロン 見学ツアーを開催しました！



10月から講座終了後に県民センター9階・10階にあるボランティアサロンの見学ツアーを開始しました。無料で利用できるフリースペースの他に、便利な機材や相談窓口もあります。便利と聞いていても利用方法が分からないと初めての利用は少し不安だと思います。受付方法からWi-Fiや電源席についても受講生同士わいわい話しながら見学しました。

事務局から

コミカレ講義室がある県民センター11階の廊下には「皆さまに少しでも楽しんでいただける仕掛けを...!」というスタッフの思いから、季節の飾りつけはもちろん、福笑いやクイズなどを掲示しています。

廊下を通ると、福笑いのパーツが移動していたり、クイズを見て「あれは分かったけど、この問題は分らなかった!」と声をかけてくれたりもします。講座以外でも繋がっている感覚が、とてもホッとして嬉しくなります。「身近なところにもたくさん皆さんの発見があって、それに気づいた自分はずいぶん!」こんなワクワクを楽しみたいですね。



令和6年度の受講者数

1,104名

主催講座 797名
連携講座 254名
特別講座 53名

※主催講座とは…県が主催者となり、講座の企画実施を委託して行う講座。

※連携講座とは…講座企画提案団体が主催する講座。

※特別講座とは…ボランティア活動未経験者に向けた無料講座。

受講者数の推移



令和5年度修了生アンケートより

Q 現在、何らかの地域活動を行っているか？

「行っている」と答えた人が **67%**



このうち、24% (約4人に一人) は
「講座受講をきっかけに活動を始めた」と答えている。

「行っている」と回答した修了生は、どのような活動を行っているか。(複数回答可)

- | | | |
|---|-------------------------|-----|
| 1 | ボランティア団体の活動やNPO活動への参加 | 70名 |
| 2 | 自治会・町内会活動への参加 | 27名 |
| 3 | 地域や学校のイベント等への参加・手伝い | 21名 |
| 4 | 新たなボランティア、NPO活動の準備・立ち上げ | 10名 |
| 5 | その他 | その他 |

令和5年度修了生アンケート&近況報告

講座では、現在子どもたちと関わる仕事をしているプロの方々の話を、直接聞くことができとても勉強になりました。「こういうことが起こっているんだ」という知識を得ることで、日々、子どもたちと接する時も、注意深く、想像力を働かせてみることを心がけるようになりました。

【発達障がい児地域支援コーディネーター養成講座】

講座を通して、たくさんの事を学びました。少しでも社会の役に立つようにと、老人ホームで傾聴の活動を始めております。受講生同士で、交流も続いております。機会を与えてくださり、ありがとうございました。

【傾聴講座】

聞き書きボランティア養成講座を受講しました。人の話を聞き、その方の人生や思いを文字に起こすことで、私もその方の人生を追体験し、思いに寄添りうることができる貴重な活動であると感じています。講座の実施団体である「聞き書きの樹」に入会し、これから研鑽を積んでいきたいと考えています。(近況報告)

受講後に、能登半島地震が発生。2月～5月中頃まで、珠州市他に計9回訪問、約30日間活動しました。能登支援は長くかかりますので、定期的に支援を続けたいと思います。

【防災教育ファシリテーター養成講座】

横浜シティガイド協会に入会し、研修生として勉強しています。頭も足も使うし、楽しい先輩、同僚とも知り合えました。期待以上に充実した日々を過ごしています。コミュニティカレッジの講座を受講して良かったです。ありがとうございました。

【まち歩きガイドボランティア養成講座】

地域主催の震災宿泊体験に、ボランティアで参加させていただくことになりました。90名近い子どもたちが、地域防災拠点でもある自分たちの学校の体育館に、段ボールベッドを作って一泊します。こちらで学んだボランティアと防災教育の両方を、実地でさらに学んできたいと思います。(近況報告)



発行：かながわコミュニティカレッジ事務局

(運営団体：一般社団法人ソーシャルコーディネートかながわ)

〒221-0835 横浜市神奈川区鶴屋町2-24-2かながわ県民センター11階
TEL.045-620-0743 FAX.045-620-0745

